

掲載日：2026年5月1日

研究利用管理番号

2501002、2202005(6)、
2503002-03

研究内容の説明文

さい帯血提供者説明 用課題名 (括弧内は申請課題名)	さい帯血移植に用いる細胞の品質調査 (臍帯血ユニットの品質調査)
研究期間 (西暦)	2022年4月～2027年3月
研究機関名	関東甲信越ブロック血液センター
研究責任者職氏名	検査部付課長 大河内 直子

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

主に血液の病気の治療として行われるさい帯血移植は、この20年間で治療成績が著しく向上しています。

本研究ではさらなる向上を目指し、より質の高いさい帯血を移植病院に提供するために、関東甲信越さい帯血バンク、近畿さい帯血バンクおよび北海道さい帯血バンクにおけるさい帯血ユニットの品質調査を行います。そして、保存の基準や移植のガイドライン作成の基礎となるデータにまとめることを目的とします。解析をするにあたり、皆様から提供していただいたさい帯血をバンクで保存する時に得るデータは、さい帯血の品質を解析するための重要なデータです。これまでに関東甲信越さい帯血バンクおよび近畿さい帯血バンクのさい帯血ユニットの品質に関する研究報告がないため、貴重な解析となります。

2 使用するさい帯血等の種類・情報の項目

さい帯血等の種類：さい帯血は使用しません。

さい帯血等の情報：2014年4月から2023年12月までの関東甲信越さい帯血バンク、および2014年4月から2024年12月までの近畿さい帯血バンクおよび北海道さい帯血バンクに提供されたさい帯血について、以下の項目を使用します。

さい帯血管理番号、性別、血型 ABO、RhD、調製開始細胞数、凍結細胞数、有核赤血球(%)、CD34+細胞数、total-CFU、CFU-GM, M, Eo、BFU-E、採取液量、採取日、出生週数、採取から凍結までの時間(分)、受入から凍結開始までの時間(分)、Viability(CD45+細胞、CD34+細胞)、保存年数、解凍時細胞数、解凍時CD34+細胞数、解凍時total-CFU、解凍時CFU-GM, M, Eo、解凍時検査BFU-E、保存に至らなかった理由、項目、提供に至らなかった理由、項目の割合、保存可/不可等のステータス、供給年月日、保管期間(調製日から移植実施日)

さい帯血等を利用又は提供を開始する予定日：2026年6月1日

- 3 さい帯血等を共用する共同研究機関及びその研究責任者氏名
当研究は共同研究ではないため、該当なし。
- 4 さい帯血等を共用しない共同研究機関及びその研究責任者氏名
当研究は共同研究ではないため、該当なし。
- 5 研究方法《さい帯血等の具体的な使用目的・使用方法含む》
さい帯血等のヒト遺伝子解析： 行いません。 行います。
《研究方法》
2014年度から2023年12月までの関東甲信越さい帯血バンク、および2014年度から2024年12月までの近畿さい帯血バンクおよび北海道さい帯血バンクにおけるさい帯血ユニットの品質調査を行います。凍結細胞数や調整保存にかかった時間、保存に至らなかった理由、提供に至らなかった理由などを調査します。これらの情報を用いて、unpaired t test (対応のない独立2群のt検定) や Pearson の相関係数など統計学的に解析することにより、さい帯血中の造血幹細胞(血液細胞を作り出す大元の細胞)の生存率や細胞数と保存方法の関係を明らかにします。さらに、さい帯血移植後の成績と合わせ、さい帯血の品質と移植成績の関連性を調べ、より質の高いさい帯血を保存するための基礎となる情報として公開します。
- 6 さい帯血等の使用への同意の撤回または研究使用の停止について
さい帯血は個人情報切り離され、個人が特定できない状態で提供されます。そのため、本研究にさい帯血の情報が提供される前で、日本赤十字社関東甲信越さい帯血バンク、近畿さい帯血バンクまたは北海道さい帯血バンクにおいて個人の特定ができる状態であれば、同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。
- 7 上記6を受け付ける方法
日本赤十字社関東甲信越さい帯血バンク、近畿さい帯血バンクまたは北海道さい帯血バンクへさい帯血を提供され、同意の撤回もしくは研究利用の停止を希望される方は、当該さい帯血バンクまでご連絡ください。
電話：関東甲信越さい帯血バンク：03-5534-7546
近畿さい帯血バンク：072-643-1327
北海道さい帯血バンク：011-613-8765

本研究に関する問い合わせ先

所属	関東甲信越ブロック血液センター 検査部
担当者	大河内 直子
電話	03-5534-7666
Mail	n-okochi@ktxs.bbc.jrc.or.jp

本文は関東甲信越さい帯血バンクの Web ページで公開され、必要に応じてさい帯血提供者への説明資料として使用されます。